

2023 年度

授業概要

科目名	臨床工学演習Ⅱ①			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年 前期
【授業の目的・ねらい】 臨床実習に臨むにあたり、必要となってくる人体と病態や臨床工学をより深く理解する。							
【実務者経験】 臨床工学技士として明石医療センター、北播磨総合医療センターで成人の人工心肺業務や呼吸・集中治療室業務に従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 人体と病態・臨床工学をより深く理解し臨床現場で活かせる知識・技術を身につける事を目的とし、実習及び座学形式にて理解を深めていく。また、クラス内で逐次、お互いの知識・技術を共有していく事でさらに理解を深めていく。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・人体と病態・臨床工学をより深く関連付けられるようになる。 ・臨床実習に臨むにあたり、必要な知識や技術・態度を身につける。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	感染対策を理解できる①						
2	感染対策を理解できる②						
3	輸液機器の使用方法を理解できる①						
4	輸液機器の使用方法を理解できる②						
5	透析治療の実際を理解できる①						
6	透析治療の実際を理解できる②						
7	医療機器管理の実際を理解できる①						
8	医療機器管理の実際を理解できる②						
9	BLS/ICLSの実際を理解・実践できる①						
10	BLS/ICLSの実際を理解・実践できる②						
11	BLS/ICLSの実際を理解・実践できる③						
12	BLS/ICLSの実際を理解・実践できる④						
13	生体情報モニタを理解できる①						
14	生体情報モニタを理解できる②						
15	中間テスト①						
	定期筆記試験						
【使用教科書・教材・参考書】 臨床工学技士標準テキスト							
【準備学習・時間外学習】 ・臨床実習に臨むにあたり、現在までの学びを総合的に復習しておくこと							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として評価する。 中間試験40点、定期試験（OSCE試験）60点として、合計100点とする。 60点以上の者に科目を認定する。							

2023 年度

授業概要

科目名	臨床工学演習Ⅱ②			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30	回数	回	時間数	60	時間	2 単位
必修・選択	必修	配当学年 時期	3年	前期			
【授業の目的・ねらい】 臨床実習に臨むにあたり、必要となってくる人体と病態や臨床工学をより深く理解する。							
【実務者経験】 臨床工学技士として明石医療センター、北播磨総合医療センターで成人の人工心肺業務や呼吸・集中治療室業務に従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 人体と病態・臨床工学をより深く理解し臨床現場で活かせる知識・技術を身につける事を目的とし、実習及び座学形式にて理解を深めていく。また、クラス内で逐次、お互いの知識・技術を共有していく事でさらに理解を深めていく。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・人体と病態・臨床工学をより深く関連付けれるようになる。 ・臨床実習に臨むにあたり、必要な知識や技術・態度を身につける。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	補助循環の実際を理解できる①						
17	補助循環の実際を理解できる②						
18	補助循環の実際を理解できる③						
19	補助循環の実際を理解できる④						
20	ICUの実際（急性血液浄化）を理解できる①						
21	ICUの実際（急性血液浄化）を理解できる②						
22	ICUの実際（体温管理）を理解できる						
23	カンファレンスの実際を理解できる						
24	カテーテル室の実際（PCI）を理解できる①						
25	カテーテル室の実際（PCI）を理解できる②						
26	カテーテル室の実際（ABL）を理解できる①						
27	カテーテル室の実際（ABL）を理解できる②						
28	ハイブリッドオペ室の実際を理解できる①						
29	ハイブリッドオペ室の実際を理解できる②						
30	中間テスト②						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 臨床工学技士標準テキスト							
【準備学習・時間外学習】 ・臨床実習に臨むにあたり、現在までの学びを総合的に復習しておくこと							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として評価する。 中間試験40点、定期試験（OSCE試験）60点として、合計100点とする。 60点以上の者に科目を認定する。							